

# 第 24 期（令和 6～8 年）第 1 回

## 公設地方卸売市場運営審議会議事録

日 時：令和 7 年 2 月 4 日（火）午後 1 時 30 分～

場 所：苫小牧市役所 5 階 第 2 応接室

出席者：（1）苫小牧市公設地方卸売市場運営審議会委員

佐藤会長、平田委員、細井委員、西田委員、野澤委員、  
中谷委員、田中委員、伊藤委員、松原委員、橋根委員  
※外圍委員、緒方委員、栗林委員、山本委員は欠席

（2）事務局

小名産業経済部長、白川産業経済部次長、永井農業水産振興課長  
紺世農業水産振興課副主幹、宮下主査、片山主任主事

○（事務局）永井課長

本日は、大変お忙しいなかお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

定刻となりましたので、只今から、「第 24 期第 1 回苫小牧市公設地方卸売市場運営審議会」を開催いたします。なお、本日の会議には審議会委員 14 名中、10 名の出席を頂いております。外圍（ほかぞの）委員、緒方委員、栗林委員、山本委員におかれましては、所用により欠席となっております。それでは、開会に先立ちまして、市長からご挨拶を申し上げます。

○（事務局）金澤市長

皆さん、こんにちは。ご紹介いただきました、苫小牧市長の金澤でございます。

岩倉市長の後に就任をさせていただきましたが、苫小牧市の発展のために一生懸命頑張っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

本日、苫小牧公設地方卸売市場運営審議会にお集まりをいただきましたけれども、皆様におかれましては、任期を 2 年といたしまして、委員をお願いしましたところ、快くご快諾をいただきましたこと、まずは御礼を申し上げたいと、このように思っている次第でございます。

ご承知のとおり、この経済状況、物価高騰等々、あるいは人口減少、様々な社会的要因を考慮いたしますと、なかなかこの先、この苫小牧市においてもいろいろと難しい局面が予想されますけれども、ひとえに皆様のご協力なくして、この卸売市場の今後というものはないかと思っております。

こうした中、第23期の市場の運営審議会におきましては、今後の経営展望、経営戦略、この改定についてご議論をいただきまして、また、昨年、意見書もいただいたところがございます。今期の審議会では、今後の施設整備、こういったものについてどう考えていくかということが議論されていくものと思っておりますが、私も公約の中で、水産棟の整備についてのことも含ませていただいております。一方で、ぷらっとみなと市場のこともあろうかと思っております。いずれにしましても、委員の皆様におかれましては、今後とも公正かつ効率的な市場の運営に資するような、こういったご議論をいただきたいというふうに思っております。

今日、この後の公務がある関係で中座をさせていただきますけれども、本審議会が苫小牧発展のために大きく資する、そのような審議会になることを祈念して、ご挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

○（事務局）永井課長

市長はこのあと公務のため、ここで退席させていただきます。

ありがとうございました。

只今から会議に入りますが、運営審議会の議長は、本市卸売市場業務規程第57条の規定によりまして、会長が努めることになっておりますが、会長が選出されるまで、慣例によりまして産業経済部長が議事の進行を務めますので、よろしくお願いいたします。

○（事務局）小名部長

産業経済部長の小名でございます。議長が決まるまでの間、務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。最初に、委員の皆様から自己紹介をお願いしたいと思います。佐藤様から右廻りで順次お願いいたします。

●佐藤委員

佐藤郁子と申します。3月まで北洋大学で客員教授として勤めておりましたが、退官いたしました。現在、非常勤講師でほんの少しお手伝いをしている状態でございます。23期の意見書作成の時も関わらせていただきました。どうぞよろしくお願いいたします。

●平田委員

町内会連合会から参りました平田といいます。よろしくお願いいたします。駅北側の第八区自治会というところの町内会長をしております。よろしくお願いいたします。

●細井委員

苫小牧消費者協会から来ました細井と申します。よろしくお願いいたします。3年くらい前に退職して、友人から急に誘われて、消費者協会なんていうところはあまり知らなかった

のですけれども、いろいろと活動をしていくうちに大変興味が湧いてきまして、今回この卸売市場の協議会員も先輩から受けることになりましたので、ちょっと微力ですが、よろしくお願いいたします。

●西田委員

マルトマ苫小牧卸売株式会社の西田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

私のほうは、水産棟の指定管理をしております、水産棟の維持管理をしております。忌憚のないご意見を参考にしながら、今後進めたいと思っております。よろしくお願いいたします。

●野澤委員

丸一苫小牧中央青果株式会社、野澤でございます。青果市場の卸業務担当ということで、青果市場指定管理の運営を含めて仰せつかって、管理、運営に努めているところでございます。引き続きの任命ということで、いろんな忌憚のない意見を頂戴いたしまして、市場の運営に生かしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

●中谷委員

苫小牧青果仲卸協同組合の中谷と申します。引き続きまた今年もよろしくお願いいたします。

●田中委員

青果商業協同組合の田中と申します。いわゆる菜葉や八百屋の組合です。よろしくお願いいたします。

●伊藤委員

苫小牧漁協協同組合の伊藤です。よろしくお願いいたします。

●松原委員

とまこまい広域農協の松原と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

●橋根委員

一般公募の橋根啓子と申します。亡くなった主人と主人の父がカキとホタテの養殖をやっておりましたので、興味があつて公募をいたしました。よろしくお願いいたします。

○（事務局）小名部長

ありがとうございます。それでは、会長・副会長の選任について、各委員にお諮りいたします。事務局にご一任でよろしいですか。

●各委員

（異議なし等の発言）

○（事務局）小名部長

それでは、事務局から提案願います。

○（事務局）紺世副主幹

第23期から引き続きまして、会長には、北洋大学の佐藤委員、副会長には、苫小牧市町内会連合会の平田委員をご提案いたします。

○（事務局）小名部長

只今の事務局案のとおりとしてよろしいでしょうか。

●各委員

（異議なし等の発言）

○（事務局）小名部長

ありがとうございました。それでは、会長には、佐藤委員、副会長には、平田委員に決定させていただきます。今一度、拍手でご承認願います。

～（拍手）～

ありがとうございました。

○（事務局）小名部長

会長・副会長が選出されましたので、これで私の議事の進行を終わらせて戴きます。

○（事務局）永井課長

それでは、会長に選任されました佐藤委員と副会長に選任されました平田委員に一言ご挨拶をお願いいたします。佐藤会長からお願いいたします。

●（議長）佐藤会長

ただいま選任されました、佐藤郁子でございます。

前回の23期のときに、引き続きということで、先ほども申し上げましたが、意見書を作

成いたしまして、審議会の総意という形で意見書を提出させていただきました。24期も、各委員の方々のご意見をまとめて、意見書としてまとめていきたいと思っております。どうぞ活発なご意見をお願いしたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

○（事務局）永井課長

続きまして、平田副会長お願いいたします。

●（副議長）平田副会長

22期から関わらせていただいておりますが、最初の頃は全然分からず、今もそんなに分かっていないのですが、皆様と一緒に審議を進めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

○（事務局）永井課長

ありがとうございました。それでは、会議に先立ちまして担当より資料の確認をさせていただきます。

○（事務局）宮下主査

お手元の資料の確認をさせていただきます。まず、本日の式次第、次に第24期の委員名簿、座席表、資料1「第23期苫小牧市公設地方卸売市場運営審議会の審議経過について」、資料2「意見書提出について」、資料3「苫小牧市公設地方卸売市場の施設整備について」、最後に「苫小牧市公設地方卸売市場経営戦略改定版」を配布させていただきます。

以上となりますが、不備等ありましたら、お申しつけください。

○（事務局）永井課長

それでは、以降の議事進行につきまして、佐藤会長にお願いいたします。

●（議長）佐藤会長

それでは、本日の会議に入ります。報告事項（1）「第23期苫小牧市公設地方卸売市場運営審議会の審議経過について」、資料1を事務局から説明をお願いします。

○（事務局）紺世副主幹

それでは、資料に基づきご説明いたします。

資料1をご覧ください。第23期の市場運営審議会におきましては、記載のとおりの内容で、審議を行ってまいりました。

第23期から継続して委員になられている方もいらっしゃるのですが、今期より委員になられた方や、第23期の途中で委員が変更となっている方もいらっしゃいますので、経過

概要をご説明させていただきます。

まず、令和4年11月1日に行われております第1回審議会におきましては、令和5年1月に民間移譲を行いました花き部の民間事業者選定結果についてご報告させていただいております。

第2回の審議会からは、本市卸売市場の在り方等を示しました「経営展望」、また、投資・財政計画を重視し策定しました「経営戦略」の改定に向け、検証・見直しの協議をさせていただきました。協議としまして、当初「経営展望」では、基本計画が示されており、その実現に向け、各部門で行動計画を示していましたことから、項目ごとに、市や指定管理者による検証を踏まえ、委員の皆様にも検証させていただきました。

その検証をもとに、改定後の計画にそのまま継続する項目や修正、削除する項目、また、追加する項目などの整理を行っていただきました。

その結果、お手元にお配りさせていただいております。「苫小牧市公設地方卸売市場経営戦略改訂版」としまして、「経営展望」「経営戦略」と統合しました計画を策定させていただいたところでございます。

審議会において「経営展望」「経営戦略」の検証を行う中で、水産棟、青果棟の施設整備についても論点となりました。それに伴い、委員の皆様には、令和5年8月に本市卸売市場水産棟、青果棟の施設見学の実施、また、令和5年11月には、札幌市中央卸売市場、室蘭市公設地方卸売市場の視察を行い、本市卸売市場の現状についてご認識いただきました。

その後の議論において、審議会としましては、建て替えが望ましいとの結論に至り、意見書としてとりまとめ、令和6年10月17日に市へご提出をいただいたところでございます。

意見書提出につきましては、資料2をご覧ください。

意見書の内容につきましては、委員の皆様においてご協議をいただき、1の内容となっております。2の意見書提出時でございますが、提出に同席いたしました委員は資料のとおりでございます。

同席された委員の皆様には、佐藤会長をはじめ、それぞれのお立場からご意見をいただきました。本市を代表しまして意見書を受領いたしました山本副市長からは、「市議会でも、建替をどうするのかという話は出ている。建替するにしても、場所を今の場所にするか、災害対策はどうするのか、財源をどうするのかといった課題がある。市だけでは決められないので、市場関係者と協議を進めていく必要がある。」「市民に理解される市場作りは大切だと考える。財源についても、いろいろな点を踏まえなければ国の補助がつかないことがよく分かった。流通構造の変化や人口減少により、求められる市場の役割が変化してきている。水産棟、青果棟ともに、生鮮食料品の安定供給のため重要な施設である」と考える。

今後とも委員の皆様にご協力いただきながら、検討を進めていきたい。とお話しをいただきました。以上が第23期の市場運営審議会の審議経過となります。

よろしく願いいたします。

●（議長）佐藤会長

ありがとうございました。

では、少し付け加えさせていただきますと、この意見書の提出についてですが、10月17日、審議委員と、それから、苫小牧市の各部署の方に対して意見を提出いたしました。西田委員が分かりやすくまたペーパーを作っていただいたということで、非常に説明がしやすくなり、建て替えありきではなく様々なご意見が出てまいりますし、それから、どのように財源を確保するか。どんな補助金があるのかと、本当に現実的な問題が取り上げられて意見提出をしたということをつけ加えさせていただきます。

只今の報告に対し、ご質問等がありましたら、お受けします。

●西田委員

まず、今日が第1回の運営審議会になります。さきほど第23期のときの運営審議会は、令和4年11月1日ということで、委嘱状を頂いた日に運営審議会を開いて、民間移設された花卉部門の話だとか、経営展望だとか、経営戦略というように話がつながってやっておりましたが、今日は2月4日ですよね。この間3か月もたって、なぜ1回も審議会が開かれなかったのか。これがずっと流れて、3か月後ろに下がってくることによって、今後の施設整備計画だとか、その辺に関わってくると思います。まず、そこの理由を産業経済部のほうでどう考えているのか、そこから知りたいと思います。

○（事務局）紺世副主幹

確かに令和6年10月に意見書を提出した状況でございます。当時、もともと市長にそのときお渡しさせていただく算段で調整をしておりましたが、この時期になりまして、市長がまた再度入院されるなど、ちょっと状況が二転三転していたところもございました。

先ほど西田委員がおっしゃられましたとおり、副市長からお渡しするなど考えもしましたが、間もなくして市長が退職されて、新しく市長が誕生するというタイミングもあり、新しい市長の考え方もこの施設整備についてはあるかと思っておりますので、そういった状況も踏まえ、また、いろいろなそういったことの調整も含めてさせていただいた結果、ちょっと遅れてしまいました。大変申し訳ありません。開催が遅れてしまった理由としてはそのような理由でございます。

●西田委員

随分遅過ぎたのではないかなという気はします。11月1日からの委嘱ですから、もっと早めに開催できたのではないかなと思います。

金澤市長が立候補すると言ったのも11月末ですから、そこまで立候補していないわけですから、その間に副市長を交えてやって構わなかったんじゃないのかなというふうには思います。

それで、本題に入りますが卸売市場の施設整備など、いろんな市の政策があります。このときの基本は何かというと、苫小牧市のまちづくりに対する方針です。苫小牧市で昭和60年に市民憲章というのを出している。市民がこういう形でやろうという形を出しています。その市民憲章に基づき、まちづくりを進めてきています。この市民憲章に基づいて計画が出されていますけども、それが都市再生コンセプトプランというものがあり、その中に、ウォーターフロントの魅力発信ということで、漁港エリアにおける新しい空間づくりという形を出されています。この現在の課題として、この漁港エリアの方向性が定まっていない点。そのエリアが定まっていないため、これをちゃんとしてみんなが集うような漁港エリアとか、ぷらっとからキラキラ公園の辺りまでをどういう形で進めていくか、ここら辺が曖昧になっておりそこがまず一つの課題だというふうに市は言っています。

この卸売市場は、水産棟、青果棟というふうに分かれていますけども、一体の整備なんですよ。もともとは水産棟を建てたところに青果の部門もあって、青果部門だけを新しい建物に建て替えた。そこから移って、今の青果棟があるわけです。その青果棟、水産棟が建ったときに、じゃあ、場外市場みたいなものはないのということで、朝市のイメージを想定してぷらっとみなと市場ができた。最初は食品卸売センターという形。市民のための新鮮で安く手に入るような水産物だとか青果だとか、そういうものを販売していくものだよという形で整備されてきた。ただ、そこの売上げがだんだん下がってきたため平成15年に、あの建物自体のものを小売にしましょうということで、小売屋さんですよということでやって、ぷらっとみなと市場というのがつくられています。ちょっと今だったら、観光の人が来て買って行くので、ふだんのスーパーよりもちょっと高く売られていたりもするんですけど、そういうのがぷらっとみなと市場の歴史なんですよ。

じゃあ、水産棟も青果棟もそういう販売所は持っていないわけですから、そういうものも含めて検討が必要です。ぷらっとは当時と変わってしまい、小売店ですから、じゃあ、うちのものたちをどうやって市民に提供できるのか。魚屋さんだってだんだん減ってきていますし、もうスーパーだとかコンビニだとかそういうところに出されちゃったりもしていますので、そういう課題も含めると、これは水産棟だけの話じゃないんですよ。前の23期のときもそうですけど、水産棟と青果棟と合わせた計画づくりをしないといけない。水産棟も青果棟もあって、一遍に建て替えられればいいんですけど、これだと非常に財源がかかるよと。だから1期工事、2期工事に分けましょう。でも、これ全体の計画として一つにまとめた形の計画づくりをしていかないと。例えば水産棟だけ補助金をもらっちゃうと、青果棟に補助金が当たらない可能性が出てきちゃうんです。それじゃあ、前の23期で要望書を出したものと変わっちゃうので、やっぱり一体となって計画をつくっていく。その工期は水産棟が先でもいいんです。2期工事として青果棟をやる。こういうものでも構わないと思います。この審議会の中に委員さん、青果も水産もいらっしゃる。水産棟だけ審議会でやりますよと言っちゃうと、青果棟の方々は何をすればいいのかということにもなる。後手後手に回るんじゃないかな。一方、青果棟になったら、青果棟だけの審議会のやるのということも出てき

ますので、それじゃあ、審議会自体が分断されちゃうので、それでは意味ないかなというふうに思います。この辺をどう考えるか、市の意見、方針を聞きたいと思います。

●（議長）佐藤会長

青果部の対応についてどうするかという観点の主だと思います。23期の審議会と一緒にやっていくという内容でしたので、今こうして切り離された段階で、先行してという言葉の下に切り離してやっていくという形で実施してくのだろうと思います。だからといって、青果部はしないということでもない。水産棟の再整備で様々な検討部会の中で様々なご意見が出て、それに対しての準備がされると思います。でも、それを参考に青果部が次に行っていくという可能性ももちろんあると思います。現在、今日のところは、先行して水産を考えていくという、その市の考え方に対して協議の案をまとめていますが、その水産棟から進めてもよろしいかというところを審議会の意見でまとめていきたいなと思っています。

●西田委員

それは違うと思う。

●伊藤委員

同意見です。そういう話ではなく、我々としては漁港区かいわいをどう整備していくかというのは、それはもう大分前から言わせてもらっています。その中で今回の水産、青果を総合的に考えないといけない。単独でやっちゃうと後に困る。せめて計画段階では、水産も青果も一緒にあの辺の整備をしてほしいという話です。先行してやらせてもらうのはいいんだろうけど、ただ、計画はきっちりそういう大きい計画の中で水産棟からやりましょうというような協議をしてほしいというのが西田委員の話だと思います。単独で行うとあの辺の整備にならないんじゃないのかな。ふらっとも含めて。大分前から言わせてもらっている話です。加えて言うと、今の防災等の協議会や何かもある。あの辺の水産棟、青果棟を含めて何とか整備してくれないかというのは、もう前々からちょっと言わせてもらっている。計画段階では総合的に計画を立ててほしいという趣旨です。

●西田委員

そのとおりです。工期が違うというのはいいんです。トータルで計画をつくる。絵を描いてもらう。水産棟はこういう施設にしましょう。青果棟はこういう施設にしましょう。ただ、工期はこっちが先にやりますよ。後からこっち、青果棟をやりますよ。だったら話は分かるんです。だけど、水産棟だけ切り離すのは違うと思う。

だからせっかく意見書を出していただいて、副市長も分かったよということで受けていただいて、いろいろな条件がありますよね。補助金や財源確保の問題として。だからこそまず、市が絵を描いてくださいよ。この全体図を。青果の汐見大通りから南側の浜側だけを、

絵を描いても意味がないと思う。

●佐藤会長

俯瞰的に見なければ分からない部分もありますね。計画は総合的に立てて、やる順番は先行して水産棟ということも考えられると思いますが、共通する部分もあるため一度事務局に持ち帰って検討が必要かもしれません。

○（事務局）紺世副主幹

市場の施設整備につきまして、委員の皆様から水産棟、青果棟ともにご意見をいただいているということはもちろん認識しております。また、今回市長公約においては、「水産棟の再整備」について掲げられているところがございます。先ほどお話がありました、苫小牧都市再生コンセプトプランの中でウオーターフロントの魅力発信について示されておりまして、そういう意味では、関係部署の意見や連携していくということはもちろん必要であるというふうには考えております。

このような経過も踏まえ、青果棟につきましても様々な課題があるということはもちろん認識しているのですが、青果棟の再整備を考えないということではなく、市としましては、まず、必要に応じて関係部署の意見などを聞きながら、水産棟の再整備計画をまず足がかりにして、そこから一歩ずつちょっと進めていきたいというところでございます。

●西田委員

このペーパーの今の3番というところは、「今後の市場施設再整備計画の策定について」と書いてます。つまり今後の市場施設の再整備計画をつくってもらえばいいんですよ。その中で水産棟は水産棟の課題があるし、青果棟は青果棟の課題がある。だから、この書き方と言うと、水産棟だけをやるという形になっちゃうので、そうじゃないよというところをちゃんと示してもらわないと駄目かなと思います。このペーパーで何でこういう書き方にしたんだろうと思う。市場施設の再整備計画をまずはみんなで作って上げましょうというのが、この24期の目標だと思いますが。

●佐藤会長

個人的な考えとして、23期の策定の中に水産棟と青果棟が入っているわけですから、その後これが出てくるというのは、緊急に必要なのかなというのがまず一つ考えられる。お話を伺うと、同時にやらなければいけないものもある。また、補助金も含めて参考になることもあると思います。全体的に、その計画を立てることが可能であれば、持ち帰って検討が必要になる。その優先順位というまではいきませんが、市長の公約にございますように、まずは水産棟から手をつけるということになろうかと思います。

●西田委員

市長の公約ですけれども、これは市役所のホームページの政策推進課だったかな、まちづくりだったかな。「市民総活躍のまち 苦小牧」というところの2番目の「投資効果の検証による公共施設の適正な整備の推進」という項目の中で、公設卸売市場水産棟の「棟」が「等」になっているんです。

●佐藤会長

「等」ですか？

●西田委員

はい。金澤市長自身は、これを「水産棟」のイメージで書いたみたいけども、ホームページ上は「水産等」になっているので、これなら分かります。だから、ぷらっとはぷらっとで老朽化対策を推進という項目があって、それはそれで金澤市長の公約の中にも入っていますので、こういうふうにはちっとうたっているのと違います。

●佐藤会長

はい、ありがとうございます。ぷらっと市場に対しては、前の審議会のところでも多くの方が公設市場と一緒にというふうに勘違いしているところもあるので、そこはしっかりと情報提供していこうという話になっておりました。そこは置いておきまして、今のところ、「水産等」ということがホームページに出ているということでしたらば、残念ながら資料3にちょっと不備なところがございますので、一応持ち帰りまして、また作成して検討していきたいと思います。よろしいですか。

○（事務局）紺世副主幹

すみません、そこなんですけど、資料3に誤りがあるわけではないのです。確かに市長公約では西田委員がおっしゃられていましたとおりの、「水産等」というような書き方をされているんですが、この部分につきましては市長に意向を確認し、そこは建物の「棟」であるということを確認はさせていただいています。

●西田委員

ただ、どこにもこうやって公になっているペーパーに出ていないです。それも金澤市長が公約でこんなふうにしますと言った後だったらいいけど、言う前ですよ。それを、次回の議会のときに公約をそういうふう直すのなら、それ以降の話で、こうやってホームページに出している以上は、これが公約になっちゃいます。だから、金澤市長の本心をこの場で言ったら、公約が間違えていましたなんていう話にはならないと思うんですよ。だから、それを水産棟の「棟」のほうの字を使っちゃうと、困るよね。それは、だって、金澤市長が議会

で訂正した後だったら分かるよ。今は「等」にしておかないとまずくないですか。

●佐藤会長

資料3はこのような形で将来進んでいくことでいいと思いますが、大本の全体的な計画を立て、水産と青果と同時進行かどうかは分からないけれども、その中に青果も入れるというところが望ましい。そうしないと進まないというところですね。

●西田委員

だと思います。同時進行しなきゃならないと思います。補助金の申請は一本、青果も水産も一本で農水省なら農水省、経済産業省なら経済産業省で一本で申請しないと駄目なので、別々にとは、どこに市だって、みんな水産も青果もやるときに必ずそういう形に一本で認可を受けていますから。それが例えば5年間でやるよとか、3年間でやるよとか。

●佐藤会長

全体的な計画を立ててもらわないと、本当によく見えないですね。これからどのように進めていくか審議していく必要があります。今日はその水産棟の扱いの話が出てまいりましたので、ご賛同いただくまでいきません。一度事務局へ持ち帰ります。また新たに検討して、意見が出た大きな計画、きちっとした一つの計画を検討し、それでもろもろ問題が出てくる場合はまずは水産を先に考える、一緒に青果を行うことも考えていくことを審議会で話し合っていきたいと思います。

まずはそれでよろしいでしょうか。

●西田委員

審議会としては、やっぱり水産も青果も一緒になったもので進めていくしかないと思います。分断してまでやることはないし、やっぱりそこで順番的には水産を先にやろうと考えているというのは後の話。やっぱり全体像をどういう形でやっていくのかということを審議会は目指したほうがいい。

●野澤委員

この文章だけを見ると水産棟だけはやりますよ、青果はしないと取られてもしょうがないのかなという部分が1点。じゃあ、先ほど言われたとおり、トータルで考えた中でその中で水産棟は進めてまいります。水産は先行して専門部会でいろんな協議もします。青果も青果でどうなるか分からないけど、与えられた施設の課題認識を青果の中でいろんな部分で今後に向けた意見の集約はいろんな部分を今からも進めていくというような話があってもいいのかなと思う。では、審議会の皆様方を含めて、水産、青果を含めて必要な施設であるという認識の下、老朽化で改築ですよということを両方の改築を市のほうに意見書と

して提出した中で、今の市のご説明の中では、水産を先行して進めていきたいと。でも、ここには青果棟をどうするという文言が何も載っていないというのはどうしてでしょうか。

いや、私は別に時期的に先に先行して水産をやって、青果も、トータルとしてどのようなプランを考えているんですかというものをお示ししていただければいいです。先行して水産、その後、青果で、ぷらっとを含めたあの辺の一体をどのような絵を描いて再整備を図っていくんですかというような大きな視点というか、そういうものもいただけると助かるのかなというような気がします。

●西田委員

青果棟の土地はぷらっとのほうにも繋がっているんです。そこが市民駐車場という形で一般の市民が使っているよとやっちゃっているんですよ。だけど、土地自体は青果棟のほうの敷地の中に入っていますのでその点も含めて、やっぱり青果棟のほうの整理をどうするかというのをトータルで考えたい。

●佐藤会長

中谷委員、いかがですか。

●中谷委員

資料は資料なんですけども、やっぱり青果棟の部分が一つあまり書いていないというところがちょっと残念かなと。一緒に入れてほしいなというのが思います。

●佐藤会長

田中委員、何かご意見はございますか。

●田中委員

話が進んで、5番の協議体制の各構成員も出ていますが、これを見ると、我々は別に参加しなくてもいいのかなというのを感じながら説明を聞いてました。

●佐藤会長

もっとはっきりトータルという言葉を使わせていただくと、全体的に計画が見えるようにというところで、誰がどんな役割があるかということも分かるような計画は必要かと思えますね。伊藤委員、付け加えて何かございせんか。

●伊藤委員

まずはやっぱり水産、青果も含めて総合的な絵を描いてくださいというお願いがしたい。

●佐藤会長

ありがとうございます。松原委員はどうですか。

●松原委員

ちょっとその辺の中身がよく分かっていなかったの、全体的なプランがあり、僕も水産棟のほうを急がないと駄目なのかなと去年の審議の中では思っていましたけども。なるほど。そう見方もあるんだなと感じました。

●佐藤会長

ありがとうございます。細井さん、初めての審議会だと思うんですけど、何かお感じになったことですか、常日頃知りたいと思っていることはございますか。

●細井委員

どんな審議会なんだというのは、先輩の方からちょっとは伺ってきたんですけども、市のお金を投入して、市民の税金ですよ。私たち消費者協会としては消費者の方というのは、それだけ市がお金をかけるんだったら、そこに行って「買物したら楽しい。安くてとってもいいものが入った。」そこだと思うんですよ。それが市民一体の市場だと思えます。いかに市民の方に根づくかって、そういうところが一番根底にないと幾ら審議しても何か浮いたものになってしまうような気がします。消費者、市民、それをその方たちがみんなで楽しめる場所というところを目指しながら、審議を続けていけたらいいのかなというふうに感じています。

●佐藤会長

ありがとうございます。じゃあ、公募で初めてだと思いますが、橋根さん、何かご意見はございますか。

●橋根委員

ざっくり5期ぐらい前のことですが、私は以前に2期続けて審議会委員をやったことがありまして、まだ結論が出てないんだなと思いました。私が2期目のときに、東北の震災の後だったので業者さんと呼んで耐震強度の調査をしてもらった年です。それでまだしばらくは大丈夫という、そういう結果報告を受けはしたものの、でもやっぱり建て替えなきゃいけないという当時の方針でした。なかなか進まないものなんだなと思って、正直驚きました。

●佐藤会長

ありがとうございました。この意見書を作成するときも、建て替えありきということではなかったの、様々なことをクリアしていかなければ財源的にも難しく、建て替えが望まし

いぐらいの表現でとまっていました。

●佐藤会長

平田さんはどうでしょうか。

●平田委員

先ほど西田委員がおっしゃったように、文言の中に青果棟が入らないのは、将来的にすぐくまずいなということだけは感じました。一緒にやっていかなければ、多分青果棟はなりゆかないというか、青果棟の改築はなくなるような気もしないわけじゃないです。

●佐藤会長

ありがとうございます。皆様のご意見としては、トータル的に考え、また、全体的俯瞰できるような計画を立てて、その中で進めていってはいかがかということ、水産棟の「等」のほうのホームページの扱いもそうですが、水産、青果ともに希望があるというところが皆様のご意見かと思えます。それぞれのところから審議会にご参加いただいているわけですから、それぞれの役割や何のためにこの審議会で市場をつくり上げていくか。そのところも含めて、トータル的な図面といいますか、図を描いていただくと、より進みやすいんじゃないかということが本審議でのまとめになるかなと思います。まずはそれを踏まえ、いまま一度事務局に持ち帰りまして、再度検討していきたいと思えます。皆様にはまたご連絡さしあげます。

○白川次長

会長、少しいいですか。

●佐藤会長

どうぞ。

○白川次長

先ほど何か質問的なこともあったので、すみません、いろいろご意見いただきましてありがとうございます。

それで、今回この施設整備の考え方を示させていただき、先ほど市長公約の関係もありましたがやはり市長公約は金澤市長の公約ですから、金澤市長が市長になってから実施していく中身となっております。

我々として、ちょっと疑問に思った部分もありましたので、確認した内容を先ほど事務局から答えさせていただきましたが、そこの訂正等に関しては次の議会の中で市長が話されていく可能性もあるかと思えます。

あと、先ほど橋根さんからもいろいろご意見がありまして、またこの議論をしていたのか、確かにそういうふうと言われるとなかなかつらい部分があるなというふうに感じております。昨年、意見書が出される前からやはり様々な要望や意見をいただいております。それに関しましては、やっぱり市全体の公共施設が今の市場、水産棟、青果棟を含めまして、同じように老朽化が進み、財政的なこともありながら、なかなかいいお返事をできていないという状況ではありました。昨年、先ほどからずっとお話がありました審議会からの意見で、岩倉前市長時代の体制でありましたが、副市長などの理事者をはじめ市としてもやはりその意見書に関しましては重く受け止め、審議会などからも要望等々が多く、先ほど事務局からの説明がありましたがやはり建築年数が古い。そういうこともありまして、「まずは」先行して、水産棟の再整備について検討を始めるという協議を意見書が出された段階で理事者を含めて行ってまいりました。

そして、金澤新市長が誕生し、公約の中でどう事業として進めていくかを検討する中で「水産棟の再整備計画の策定」を進めるという流れになり、今回お示しさせていただいたところでは。

最初から青果棟のことも含めて記載すべきかもしれませんが、市としても青果棟も課題があるため聞き取り等々並行しながら検討していく。だから、水産棟の再整備計画を作成しながら青果棟はどういう課題があるのかといったところを市場内の市場関係者の方々といろいろと意見交換しながら並行して進めていきたいというところを口頭で説明させていただいたものです。

これまでやはりなかなか進まなかった市場施設の再整備に関して一步踏み直そうかなという状況です。ただし、やはり建物を一つ建てるということは本当に容易なことではありませぬのでまずは先行して、今回提案させていただきましたこの水産棟再整備の策定を審議していきたい。また、先ほど田中さんのほうから、我々が入っていないのかと感じられたことに関しましては、まず水産棟の再整備計画ですから水産棟に関係ある構成の方々で部会を作成したいと。西田委員からも先ほどありましたが、審議会の中で水産棟だけやるのであれば、青果の人方もいて片方だけの話になるのでないかといったところも、私も十分に思いますのでそこは議論を深くどういう建物にしていくかといったところです。要は水産棟なら水産棟の市場関係者、青果棟なら青果棟の市場関係者、その方々を集めて、その建物のことに精通している方々の意見を聞きながら協議を進めたい、検討を進めていきたい。それがこの部会の設置ということで表現させていただいております。

今回は水産棟だけの話をまず先行して示させていただいたので、青果棟の田中さんに関しましては、この構成員の中には入っておりませんが、青果棟でこういう部会を設置するとなったときには、もちろん青果棟に関係する方々の人方が入ってくるのかなというふうには考えております。

水産棟だけかといったところのお話に関しましては、全くもって我々としてはそういう考えではございません。表現として、先行してというところはつけさせていただいている中

には、今後、青果棟に関してもいろいろな検討はしていかなきゃならないなというふうには重々思っております。そういった背景が事務局側の今回の提案だということをまずご理解いただきたい。我々も若干この記載しているところがちょっと足りなかったなといったところの点に関しましては、大変申し訳なく、おわび申したいと思っておりますけれども、我々の考え方は、そういう趣旨で提案させていただいておりますのでご理解いただきたく思います。

●佐藤会長

ありがとうございます。

いずれにしても、トータル的な計画が必要だということには変わりはないと思います。

●西田委員

今のお話でちょっと気がついたんですけど、構成員になぜ市が入ってないのですか。

○白川次長

入ります。

●西田委員

構成員に市が入らないで、うちだけでやれといたら、好き勝手な絵を描きますよね。

○白川次長

すみません、そういう漏れもございました。市も入ります。皆さんの意見を聞くという立場ですから市ももちろん入ります。どういう体制でやっていくのかという細かい要望等々に関しましては、また改めて示したいといったところも事務局のほうからお話がありました。話し合いをする構成員の中には間違いなく市も入って協議していきます。ご理解いただきたいと思っております。

●佐藤会長

初めの第一歩としては、やっぱり全体的にどうするか、どこから行っていくかというところはやはり変わらず必要だと思います。今のような丁寧なご説明があれば余計内容も分かり、ありがたいことだと思います。しかし事務局で持ち帰ることには変わりはありません。持ち帰り検討させていただきたいと思っております。皆様のご意見が出たのをまとめ、プラスして、加えて今ご説明いただきました市のほうの仕事を付け加えまして、新たに計画を立ててまいりたいと思っております。

次回の審議会のときまでなのか、それより先なのか、まだ私はこの場で申し上げられませんが、皆様のご意見を反映した内容になるものと思っております。いろいろのご意見をありがとうございました。

以上をもちまして本日の運営審議会を終了したいと思います。お疲れさまでございました。ご協力いただきまして誠にありがとうございます。

○永井課長

以上で解散いたします。ありがとうございました。